

The background features a light-colored illustration of school children on a field trip. In the center, a boy and a girl are walking towards the viewer. To the right, a group of children in school uniforms are talking. On the left, a yellow school bus is shown with children inside. The background also includes faint text: '中・高' and '高校' in a red circle, '修学旅行' in large characters, and 'いろいろ' in smaller characters. There are also icons of a plane, a pagoda, and a pine tree.

ASOMANACTIVE

小学生向け 修学旅行

SDGs Travel Adventure

事業提案資料

ASOMANACTIVEについて

信念

「遊び」の中で
「興味・関心」を引き出し
「経験」と共に子供たちの「学びを最大化」する

対象は小学校3~6年生。

子供たちが心からワクワクするような**体験型エンタメ学習プログラム**を
開発・運営し、**新たな「教育」の形**を創出しているチームです。

私たちは、2030年までの社会を様々な切り口で分解し、課題解決に
取り組む**SDGs**をベースに、遊びながら自然とたくさんの社会に触れ、
学ぶことのできる**学習プログラム**を日々開発しております。



※プログラム監修：山藤旅間さん
→新渡戸文化小中学校・高等学校教諭。
一般社団法人「Think the Earth」SDGs for Schoolアドバイザー



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



事業概要

**「地方」の課題と「教育」の課題をマッチングさせ
新たな地方の関わりと新たな学習体験を可能とする
小学生向け修学旅行事業**

取り組む課題

- ①地方 : 全国的な観光客の減少
- ②教育 : 修学旅行における学び&遊びの両立の難しさ
- ③地方&学校 : 外部とのつながり不足



ソリューション

- ①定例行事である小学生の修学旅行での観光地への送客
- ②小学生用の遊べて学べるエンタメ学習旅行プランの開発
- ③地方・学校・子供・親が関わりをきっかけを創出



地方の課題：全国的な観光客の減少①

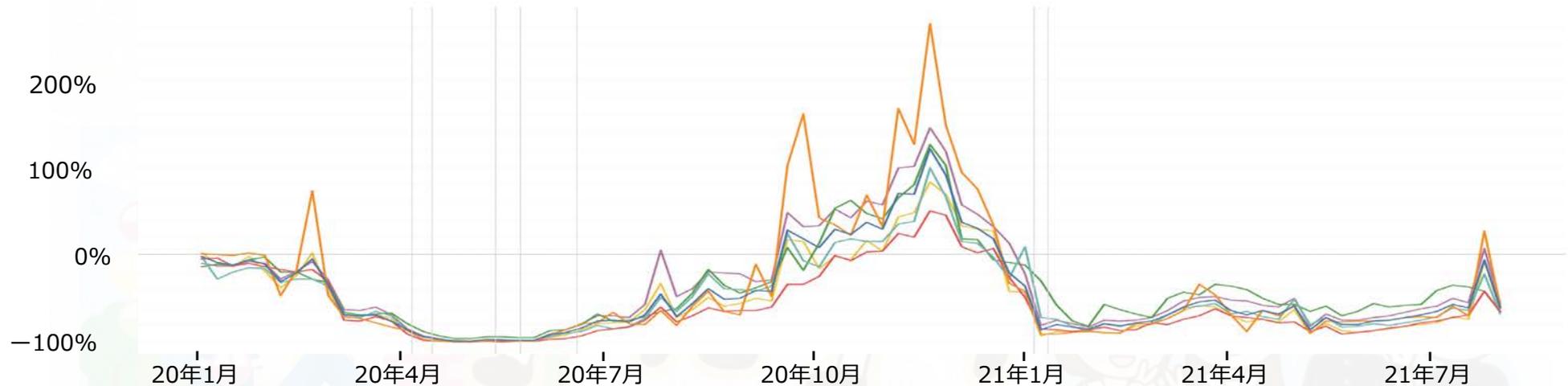
新型コロナウイルスの影響を受けて2020年2月頃より全国の宿泊者数は大幅に減少傾向
Go to トラベルキャンペーンなどで**一時的に復調**するも依然として観光業界は**厳しい状況が継続**

全国の宿泊者数（宿泊者分類毎の2019年同月比の推移）

V-RESAS

宿泊者の分類：

- すべての宿泊者の分類
- 女性グループ
- 一人
- 男女グループ(13歳以上子ども含..)
- 子ども連れ(子ども=13歳未満)
- 男性グループ
- 夫婦、カップル(男女二人含む)



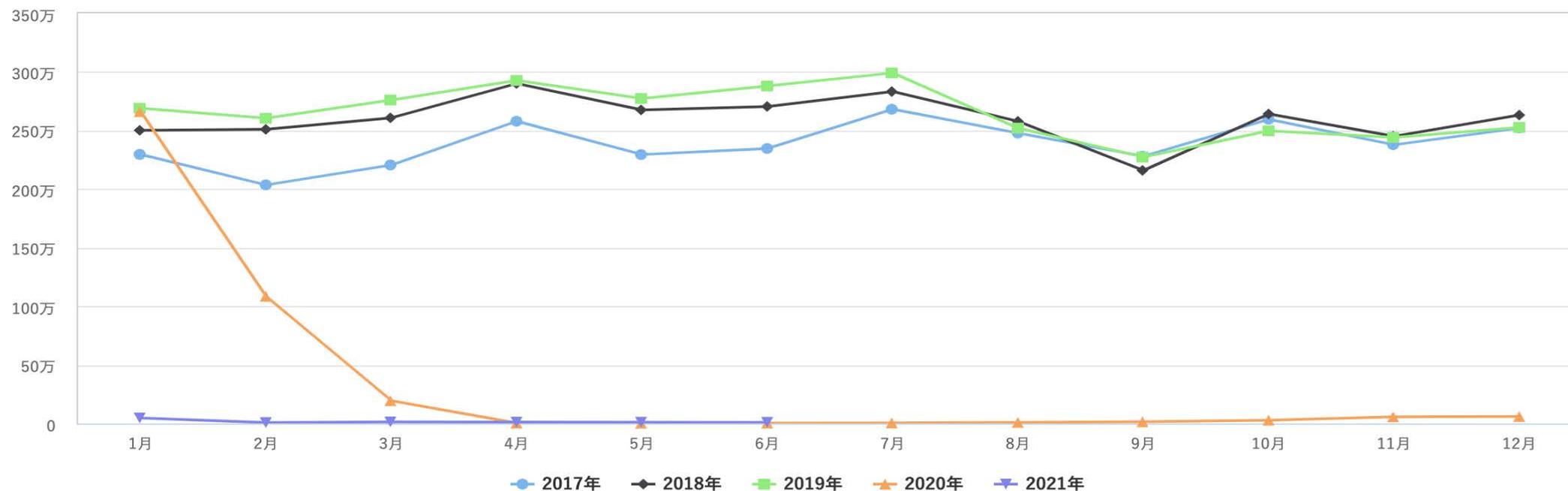
出典：V-REASAS（観光予報プラットフォーム推進協議会）

観光業による経済効果の恩恵を受けることができない地方も多く存在すると考えられ、
宿泊事業者や飲食事業者含め観光地全体で**観光客減少を埋めるための積極的な集客**は継続した課題

地方の課題：全国的な観光客の減少②

特筆すべきは訪日外国者数であり、2019年までは月間200～300万人に存在した訪日外国人が2020年4月頃より数千～1万人しかないという衝撃的なデータも存在

年月別訪日外国人数の推移（2017～2021年）



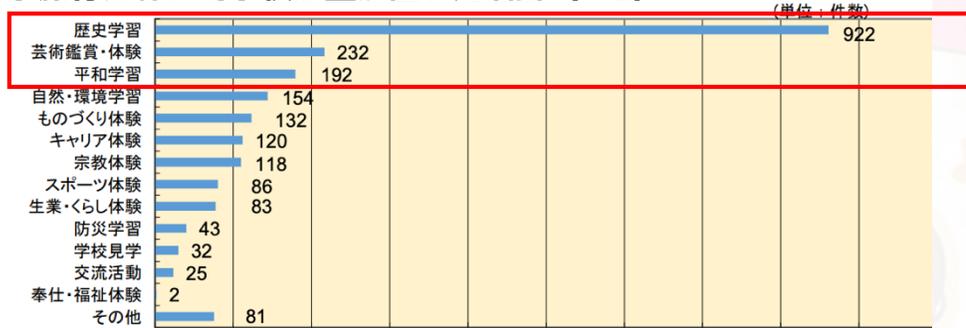
出典：日本政府観光局 (JNTO) 発表統計よりJTB総合研究所

いつ終息するかわからないwithコロナの時代において、
様々な観光地でインバウンドに替わる有力な集客ターゲットを選定する必要があると推考

教育の課題：修学旅行で遊び&学びの両立の難しさ

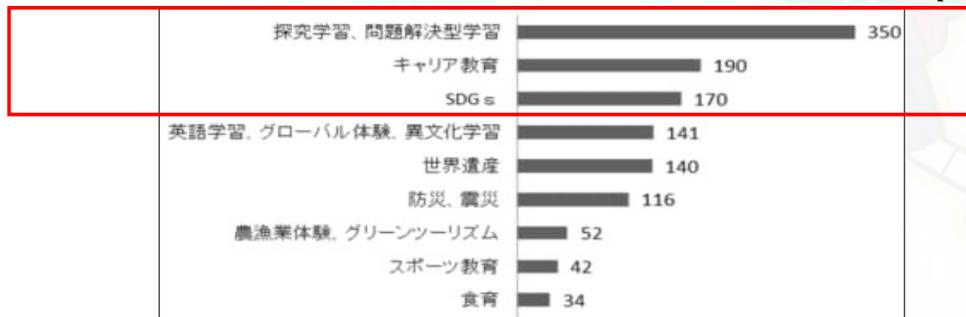
学校側が修学旅行で重点を置くのは歴史学習や芸術鑑賞・体験、平和学習といった内容に偏重
また、近年では**非認知能力**や**キャリア開発**、**SDGs**に対して一部の学校は関心が高まっている傾向有

修学旅行において学校が重点置いた活動（※1）



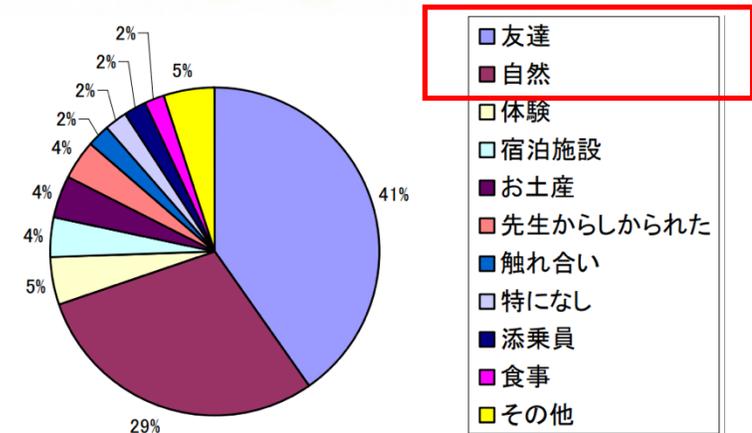
出典：教育旅行年報2019年度版 日本修学旅行協会(N=2222)

今後修学旅行を実施する上で、学習テーマとして注目していること(※2)



出典：日本教育新聞 2021年3月調査(N=530)

修学旅行で記憶に残ったことは(※3)



出典：JTB広報室Webアンケート 2007年7月調査 (N=3250)

※1：全国の国立、公立、私立の中学校から対象校を抽出してアンケート調査

※2：全国の小・中・高校に対するアンケート調査

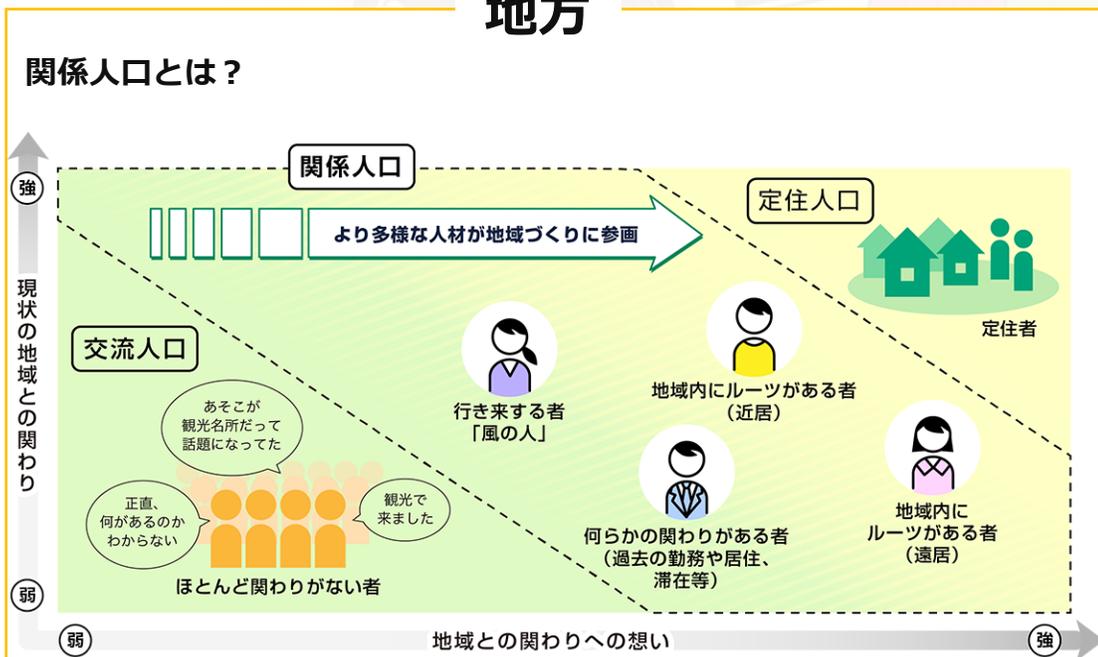
※3：10代～80代のWeb利用男女に対するインターネット調査

一方で、子供として最終的に記憶へ鮮明に残るのは**友達**や**自然体験**といった「旅行」に偏った内容
本来であれば「修学」の意味を果たす旅行を企画・実行することが必要

地方と教育の共通課題：外部とのつながり不足

次の地域づくりの担い手としての**関係人口**を増やしたい「地方」
 子供たちの資質・能力を育む学習過程の中で、**学外の地域や社会との関わり合い**が必要な「教育」

地方

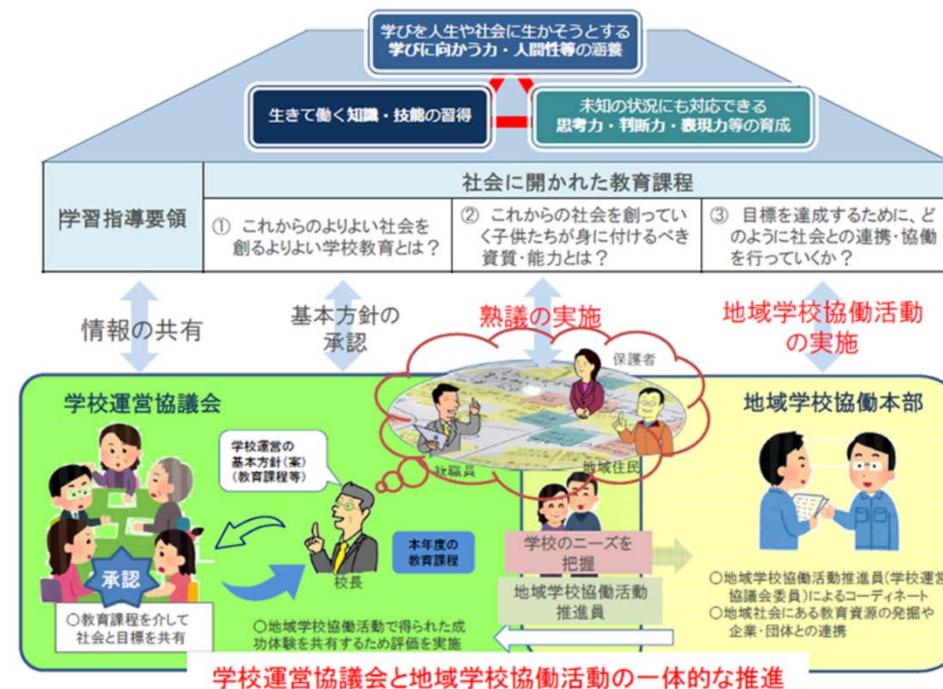


地方圏は、人口減少・高齢化により、地域づくりの担い手不足という課題に直面、一方、地域によっては若者を中心に、変化を生み出す人材が地域に入り始めており、「関係人口」と呼ばれる地域外の人材が地域の担い手となるのが期待されている。

出典：関係人口ポータルサイト

教育

社会に開かれた教育過程の実現に向けて



出典：文部科学省 社会に開かれた教育課程の実現に向けて

ソリューション

1

地方の課題：全国的な観光客の減少

⇒定例行事である小学生の修学旅行・遠足での**観光地への送客**

2

教育の課題：修学旅行で遊びと学びを両立させる難しさ

⇒小学生用の**遊べて・学べるエンタメ修学旅行プラン**の開発

3

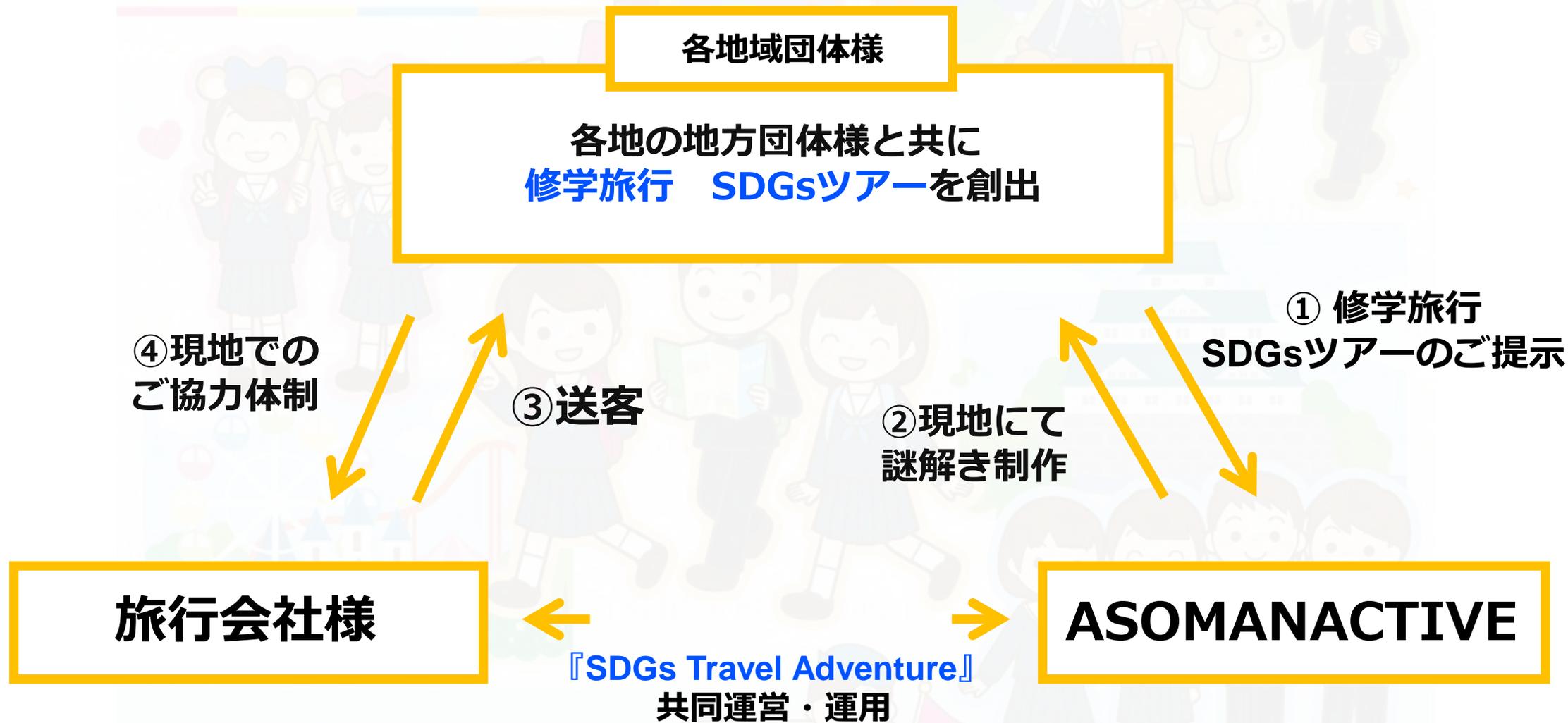
共通の課題：外部とのつながり

⇒地方・学校・子供・親が**関わりをつくるきっかけ**を創出

過去（歴史）を学び、現在（SDGs活動）を知り、未来（SDGs実行）を考える

「SDGs Travel Adventure」という
学習旅行プランをご提案します

本事業のモデル ～地方の関わり～



SDGs Travel Adventureとは

子供たちが本気で**遊び・学び**ながら**地域社会**に触れ、
地方の関わりをつくる**体験型エンタメ修学旅行プラン**

①興味

旅行先のことを知る
事前学習



地域の過去
(歴史・文化など)を
学習し、現在のSDGs
活動を調査

②体験

旅行先で楽しながら
学ぶ「SDGs謎解き」



地域の現在のSDGs
活動を謎解きに絡め、
子どもが興味・関心を
持ち易い题型で体験

③創る

旅行で学んだことを
活用する事後学習



SDGsを主に
地域の未来を考える

④繋ぐ

旅行先の魅力・課題を
子供達自らがプレゼン



SDGsを主に地域の
未来(魅力や学び)を
発表する！

SDGs Travel Adventureとは ①興味：事前学習

この旅で子どもたちは、通常とは異なる「旅のしおり」が手渡されます。全部で4つのパートに分かれており、『事前学習』『旅先でのSDGs謎解き』『事後学習』『最終プレゼン』があり、児童は順番に進めて参ります。事前学習では、これから行く旅先の『魅力』と『課題』を子どもたちが自ら調べ、旅行までの期待感を醸成します。



「旅のしおり」※イラストイメージ



開いてみると、



しおりを開いて、課外学習の一連の流れや、地域の魅力・課題を記載していただきます。

まずはこれから行く地域のことを、インターネットや本を使って調べることで旅行本番への学びに備えます。

「調べ方のコツ」

- 「テーマ」を選んだ後は、本やインターネットで調査をしよう！ただし、調査にはいくつかの気をつけるべき点があるぞ。
- ①WEBサイトで調べる時はその情報が間違っていたり、古い情報になっていないかを確認しよう
- ②使用するデータは正しい内容かどうか確認しよう。調べたデータが正しいことを確認して、勝手に書き換えないようにしよう
- ③初めて知ったことや、もっと知りたいと思ったことはメモをして、忘れないようにしよう！

また、インターネットで調べる際のコツ・注意なども記載。

正しいデータの取り扱い方や、新しい情報を参照するなど、何かを調べる際のコツをマスターしていきます。

児童の自発的な探究を促します。



SDGs Travel Adventureとは ②体験：旅行本番

旅本番では、事前に調べた地域について『調べたことは本当にそうなのか？』を体験しながら確かめます。そして、一番の醍醐味は、**各地に散らばるSDGs謎解き！** 回る観光地に潜む謎を解き明かし、より**地域への深い理解**を促します。

■ 課外学習の流れ

旅先に到着！
SDGs Travel Adventureのルールを知ろう！

観光地で地域の魅力について知ったり、
地元の話聞いて地方を学ぼう！

それぞれの観光地で待ち受ける謎解きを
クリアして地域の歴史やSDGsを学ぼう！

事前学習で学んできたことと、実際に体験した旅先での
経験を比べて、旅先ならではの発見を探してみよう！

全ての謎解きをクリアすると
『この街を盛り上げるアイデアが欲しい！』という
メッセージが浮かび上がり、ゴール！

■ SDGs謎解きとは？

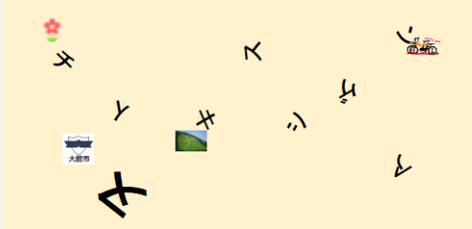
長木溪流



観光地説明
大館市内を東から西へ流れる長木川。上流の雪沢温泉あたりの名所・四十八滝や夫婦岩など多くの溪流美の名所があり、新緑や紅葉の季節には多くの観光客でにぎわいます。

謎解き

明治時代、物資輸送により栄えた。板敷道は時代の流れと共にその役目を終え、2009年に100年の歴史に幕を閉じた。残った軌道を活用するべく、大館市は2015年にこの板敷道を〇〇〇〇に認定し、「レールパーク」などで観光地化を目指している。



ヒント
失われた鉄の道呼び覚まし
上空より重ねよ。

SDGs謎解きでは、SDGsについて説明された文章の中の重要な**キーワード**が穴抜けになり、答えを見つけるために謎を解いていきます。更に、**地域の特徴を活かした謎解き**を用意し、地域への理解を深めながらチャレンジすることができます。

※**現地**でしか謎解きのできない仕様とします

SDGs Travel Adventureとは ②体験：旅行本番

■SDGs謎解き補足資料 例) 秋田県 大館市 花岡の場合

答え

長木溪流



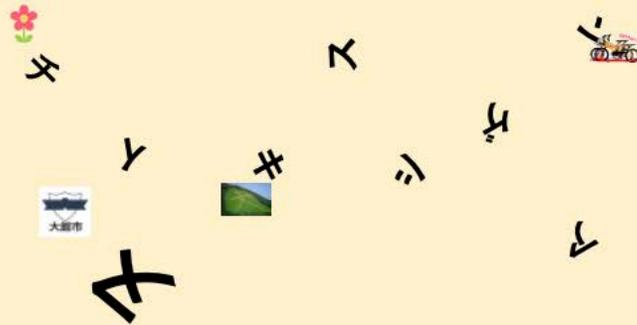
観光地説明

大館市内を東から西へ流れる長木川。上流の雪沢温泉あたりの名所・四十八滝や夫婦岩など多くの溪流美の名所があり、新緑や紅葉の季節には多くの観光客でにぎわいます。

謎解き



明治時代、物資輸送により栄えた小坂鉄道は時代の流れと共にその役目を終え、2009年に100年の歴史に幕を閉じた。残った鉄道を活用するべく、大館市は2015年にこの小坂鉄道を〇〇〇〇に認定し、「レールパーク」などで観光地化を目指している。



ヒント

失われた鉄の道呼び覚まし
上空より重ねよ。

謎解き

明治時代、物資輸送により栄えた小坂鉄道は時代の流れと共にその役目を終え、2009年に100年の歴史に幕を閉じた。残った鉄道を活用するべく、大館市は2015年にこの小坂鉄道を〇〇〇〇に認定し、「レールパーク」などで観光地化を目指している。



ヒント

失われた鉄の道呼び覚まし
上空より重ねよ。

※現地でしか解けないような、その土地の「景観」や「観光スポット」をヒントにした謎解きをご用意。地域の特色に触れながら謎解きが楽しめます。

秋田の地図を重ねると答えが浮かび上がります！
廃棄となった鉄道ラインに重ねて「チイキシゲン」が出てきます。

SDGs Travel Adventureとは ③創る：事後学習

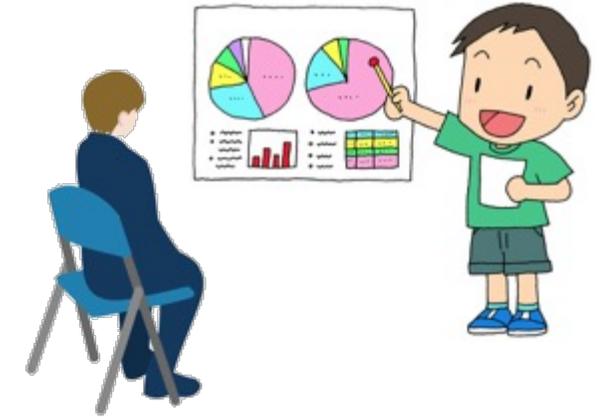
事後学習では、課外授業先で実際に体験したことや、新たな発見を元に、旅先の事業者（地域観光課や企業など）や保護者に向けた『旅先での良かったことやSDGsアイデア』を考案し、発表資料に落とし込んでいきます。

■事後学習の流れ

①事前学習や旅先で学んだことや、地域の持つ魅力を照らし合わせ、アイデアを考案！

②他の人の意見も聞きながら、より良いアイデアにできないか考える（班学習を想定）

③考案したアイデアを発表資料（スライド1枚）に落とし込む！あとは発表練習！



子どもたちが感じた実際の『体験』を『経験』に変えるための後半戦。
班毎でまとめるチームワークやプレゼン能力も身に付きます。

SDGs Travel Adventureとは ④繋ぐ：プレゼン

最終プレゼンでは、これまで学習してきた全てのことを生かし、お世話になった旅先のクライアントに対して、『**地域をより活性化するためのアイデア**』のプレゼンを行います。さらに、このプレゼンには**生徒たちの保護者も参加**。これまでの遊び、学んできた**我が子の成果を見学**することができます。

■最終プレゼン概要

お題：「旅先の地域をより活性化するアイデア」を提案せよ！

人数：修学旅行班（6～7人1組）

発表：パワーポイントなどスライドを使用（1枚程度）

場所：オンライン開催

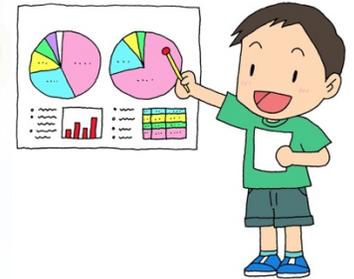
時間：1組5分

■当日の流れ

- ①各班がそれぞれ準備してきたアイデアをプレゼン！
- ②プレゼンに対し、地域の皆様からのフィードバック
- ③地域側代表からのメッセージ、クロージング



オンラインでの発表イメージ



子どもたちが**本気で伝える**地域の方々へのプレゼン！

■地域との関係人口の創出について

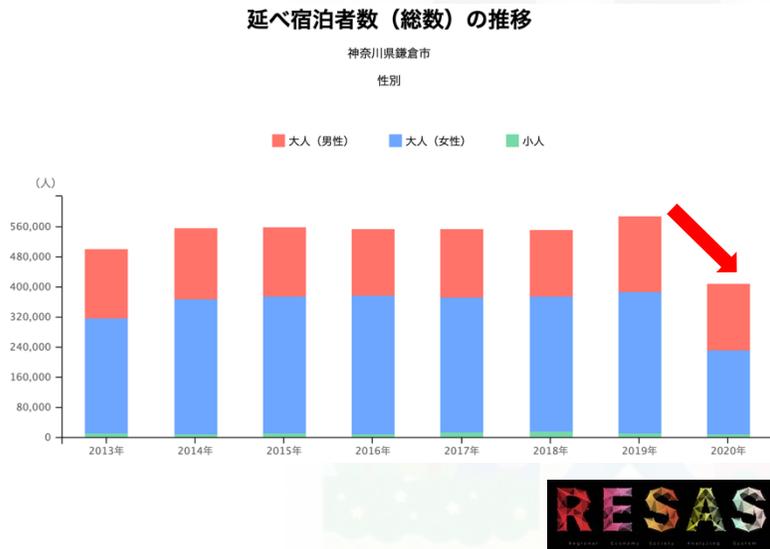
- ①事前学習による地域への理解、②旅行本番での地域との思い出、③最終プレゼンでの地域の方との関わりを通し、**旅先への興味・関心**を呼び起こすきっかけをつくります。地域に実際に触れた後、自分たちのアイデアを掛け合わせプレゼンすることで、旅先への理解を深め「**また行きたい！**」と思えるような機会をつくり**保護者へ伝えてもらいます**。

神奈川県鎌倉市の現状

日本有数の観光地である同市もコロナウィルス影響により**各種観光事業へ多大な被害**を受ける一方、観光地としての魅力訴求を軸に**関係人口・定住人口を増加させていく計画有**

宿泊者数の減少

鎌倉市の延べ宿泊者数推移 (2013~2020年)



出典：REASAS (観光予報プラットフォーム)

2014年頃より順調に推移していたが、2020年になり、**宿泊者数が大幅に減少**

観光客の減少

鎌倉市の延べ観光客数の推移(2011年~2020年)



出典：令和3年鎌倉市の観光事情 (鎌倉市)

宿泊者よりもさらに深刻なのが観光客の減少
2020年は前年比61.2%減

観光起点での交流人口の拡大

市長コメントより抜粋

鎌倉市においても、人口減少・少子高齢社会の到来による市内人口や国内観光市場の規模縮小を考慮すると、市内の経済規模や雇用の維持に向けて、**これまで以上に観光施策に力を入れて取り組み、観光消費や交流人口の拡大を通じた地域の活性化を図っていく必要があります。**

出典：H28年第3期鎌倉市観光基本計画 (鎌倉市)

観光計画より抜粋

歴史・文化とともに豊かな自然が本市の特徴であり、この環境から生まれる鎌倉の魅力が多く訪来者者をひきつけ、転入を促進している大きな要因である。このため、これらの**魅力や価値を市民や来訪者と共有し、確実に守り、後世に伝えることで交流人口、関係人口、定住人口の増加を加速化させ** . . .

出典：H30年SDGs未来都市計画 (鎌倉市)

市全体として観光による交流人口から**関係人口や定住人口へ変容させる計画有**

SDGs Travel Adventureの流れ ～神奈川県 鎌倉市の場合～

■神奈川県 鎌倉市とは

 人口 約172,700人 <small>令和2年6月現在</small>	面積 39.67km ²
年間延べ観光客数 約1,902万人 <small>令和元年現在</small>	国宝 国指定文化財 216件 <small>令和2年4月現在</small>



鎌倉の特徴

「鎌倉大仏」や「鶴岡八幡宮」など有数の観光地が多数！
 しかし、新型コロナウイルスの影響で海外からの観光客が激減。観光者数自体もかなり減ってしまう状態となる。

鎌倉市で『SDGs Travel Adventure』を開催！

①興味

鎌倉大仏や鶴岡八幡宮などの歴史や特徴、SDGsの取り組みを調べる！



こんなに大きい大仏があるんだ！早く行ってみたいなあ、..！

②体験

鎌倉ならではの『観光地やSDGs謎解き』を体験！



鶴岡八幡宮の〇〇がヒントになっていたのか、..！

③創る

体験をもとに地域をより盛り上げるアイデアを考案！

鎌倉のアジサイをもっと広めて、イベントを作ったらどうか？



④繋ぐ

鎌倉の事業者様に考えたアイデアを全カプレゼン！

アジサイ観光ツアーをしてみたらどうでしょうか！きっと人気が出ます！



秋田県大館市の現状

同市においても**宿泊者や滞在者の減少、関係人口不足**は課題
 一方、**教育旅行の誘致数をKPIにする**など観光起点での交流人口拡大を目標として設定

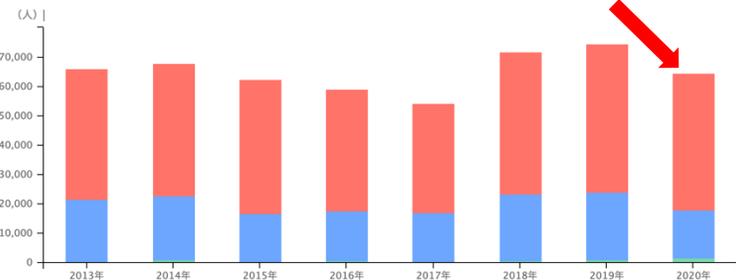
宿泊者の減少

大館市の延べ宿泊者数の推移（2013～2020年）

延べ宿泊者数（総数）の推移

秋田県大館市
性別

■ 大人（男性） ■ 大人（女性） ■ 小人



出典：REASAS（観光予報プラットフォーム）

2018年から上昇傾向だった宿泊者数も
2020年になり減少

関係人口不足

関係人口の創出・拡大におけるKPI（H30～R6）

項目	基準値（H30）	目標値（R6）	備考
継続的に地域活動に関与する人数	—	25人	

地関係人口の創出と拡大における同市の資料

地域外にあって、移住でもなく観光でもなく、大館市と継続的かつ多様な形で関わり、地域課題の解決に資する「関係人口」の創出と拡大を図ります。

出典：令和2年3月総合戦略（大館市）

関係人口創出・拡大を目指すも継続的に
 地域活動に関与する人は**H30時点で0人**

観光起点での交流人口拡大

交流人口拡大におけるKPI（H30～R6）

項目	基準値（H30）	目標値（R6）	備考
教育旅行誘致人数	587人	785人	
県外教育実習生等の人数	16人	46人	
サマー・ウィンタースクールの人数	21人	26人	
県外教育視察研修の受入れ件数	38件	50件	

また、本市の教育視察の受入れや研修依頼等が増加傾向にあり、教育ツーリズムを幅広く受け入れるため、おおだて型教育を学習することを目的とした教育実習や教育視察等の学生へ市内の宿泊費の助成を行い、視察や研修に訪れる交流人口の増加を目指します。また、サマー・ウィンタースクールを行い、首都圏の児童や保護者が大館市のおおだて型教育や自然、伝統文化に触れる機会を確保し、交流人口の拡大を目指します。

出典：令和2年3月総合戦略（大館市）

教育関連のツーリズムについて
同市の成長戦略に具体的な記述あり

SDGs Travel Adventureの流れ

～秋田県 大館市の場合～

■秋田県 大館市とは

PROFILE OF
おお だて
“秋田県大館市”

秋田県の内陸北部に位置する大館市。

『秋田犬』『きりたんぼ』『曲げわっぱ』などで知られており、
豊かな自然と特産物に恵まれたまちです。

人口：約71,000人

総面積：913.22km²

※平成30年12月1日現在



大館の特徴

緑に囲まれた豊かな自然や、秋田名物「きりたんぼ」発祥の地！
曲げわっぱなども名産品。

しかし、都心への人口流出や関係人口の不足など、多くの課題を抱えている。

大館市で『SDGs Travel Adventure』を開催！

①興味

大館曲げわっぱやきりたんぼの歴史や特徴、SDGsの取り組みを調べる！



きりたんぼって
こんな風に作るのか、！
食べたことないし楽しみ、！

②体験

大館ならではの『SDGs謎解き』を体験！

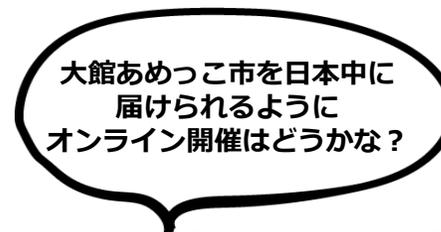


大文字山に答えが
隠されているぞ！！



③創る

体験をもとに地域をより盛り上げる
アイデアを考案！

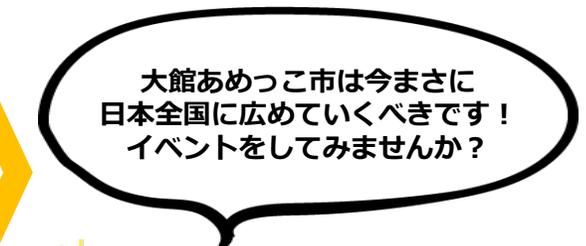


大館あめっこ市を日本中に
届けられるように
オンライン開催はどうか？



④繋ぐ

大館市の事業者様に考えた
アイディアを全カプレゼン！



大館あめっこ市は今まさに
日本全国に広めていくべきです！
イベントをしてみませんか？



SDGs Travel Adventureまとめ

取り組む課題

- ①全国的な観光客の減少
- ②修学旅行における学び&遊びの両立の難しさ
- ③地方と教育に共通する外部とのつながり不足

ソリューション

- ①修学旅行での観光地への送客
- ②遊べて学べるエンタメ修学旅行プランの開発
- ③地方・学校・子供・親が関わりをつくるきっかけを創出

SDGs Travel Adventure

- ①観光地の再燃、新たな観光地作りを謎解きでツアー化し、小学生たちを各地方へ送客
- ②地方の特性とSDGsに関する謎解きを掛け合わせることで、楽しみ学びながら旅行ができるツアーを提供
- ③SDGs視点での各地域の魅力や課題を子供が学び、事後学習～プレゼンで保護者と地域にお返しする機会創出

『全国の地方自治体・学校関係者の皆様』

ぜひ、子供たちと地域の未来のために、本事業を共に創造しませんか？

これまでの修学旅行や、街の集客イベントの常識を超え、新たな価値を生み出して未来に繋ぐ。

将来、子供たちが生きる地域や世界について、ご一緒に取り組んでいきたいです。

ASOMANACTIVEの目指す未来

**「地域の可能性」と「子どもたちの好奇心」を結び、
未来を切り開く「持続的な繋がり」を創る**

『子供たちと共に、将来生きる世界を真剣に考える』

SDGsの目指す2030年とは、今の11歳～12歳がまさに成人を迎えるタイミングであり、生きていく世界そのものとなります。

SDGsそれぞれの目標には、目指すべき方向性が描かれ、世界はもちろん皆様の地域でも、SDGs達成に向けた活動がおこなれています。

その実際の活動や体験に子供たちが触れ、気づきを得て新たな行動に変えていく。

「子供たちと地域の可能性」を繋げ「未来を切り開く」ために、私たちは活動を続けて参ります。